

行財政改革で持続可能な行政へ

VUCA時代に順応した戦略的イノベーション

近年は、IT技術の急速な進化や新型コロナウイルス感染症の影響、異常気象などによって世界的にも変化の度合いが増し、取り巻く環境の複雑さと将来予測の困難性が増加する状況にあることから、「VUCA時代」と広く認識されるようになりました。そのため、既存の価値観やさまざまなスタンダードなどが通用しない大きな変革の時代を迎えています。

本市においても、この変化を敏感に捉え、臨機応変に速やかな順応を図ることが重要です。また、将来にわたり地域社会が持続的に発展していくためには、前例踏襲主義から脱却するとともに、改革効果の高い事業へ注力する「選択と集中」が必要となります。

そこで、令和4年度から令和8年度の行財政運営を行うため、これまでの行財政改革での取り組みを抜本的に見直し、行財政改革基本方針とその実行計画の行財政改革アクションプランを策定しました。

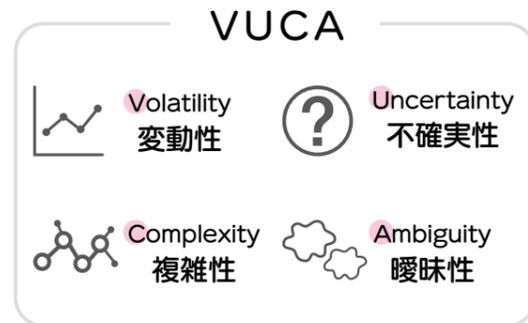


政策経営課（千代田庁舎）

社会情勢の変化

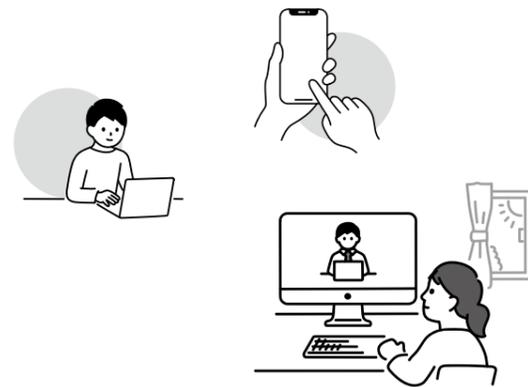
VUCA時代の到来

既存の価値観やスタンダードなどが通用しない大きな変革の時代では、イノベーションがもたらす対応力を活用し、住民サービスの提供や課題解決を両立させていくことが重要です。



「新たな日常」とデジタル化の取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大などで変化した新たな日常や、環境変化に対応する住民サービス提供のため、積極的にデジタル技術の活用が求められています。



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

少子高齢化が進み将来への不安が高まっている中でも、身近な環境への関心や市民生活の向上を目指し、持続可能な行財政運営の実現に向けて取り組んでいくことが重要です。

策定のポイント

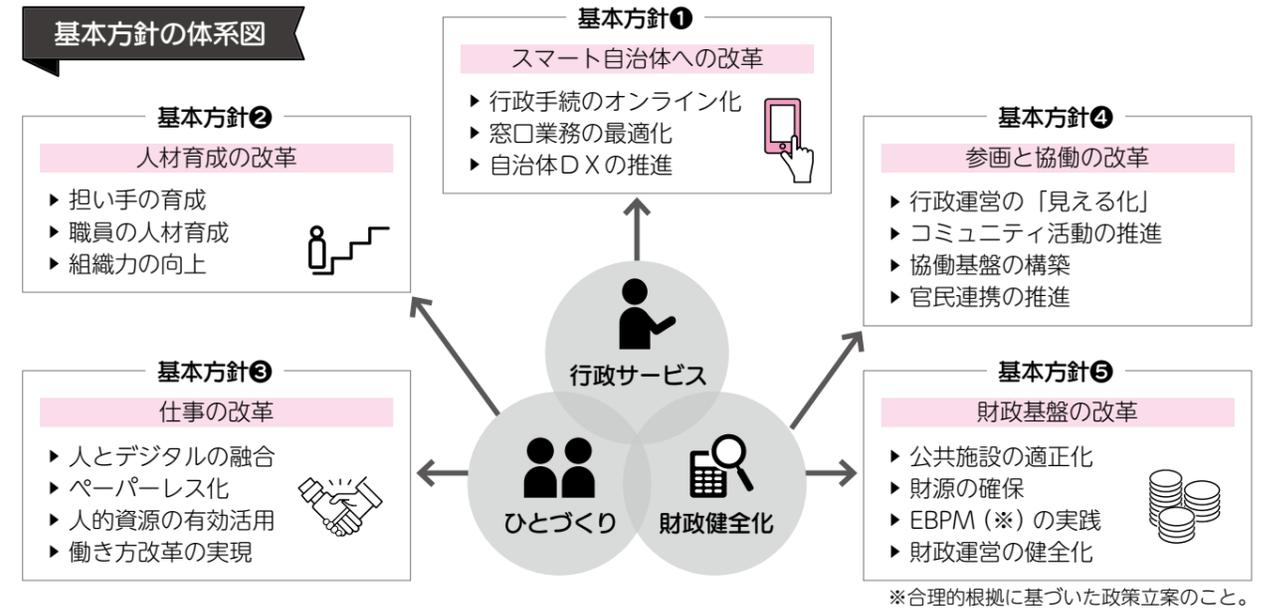
目指すべき方向性

「行政サービス」「人づくり」「財政健全化」の3つの視点から、右の目指すべき将来目標を設定しました。これらの目標を実現するため、行財政改革の柱として5つの基本方針と重点的に取り組む事項などを設定しました。

目指すべき将来目標

- ▶ 地域を創る輝く人材が活躍する
- ▶ スマート自治体の実現で安心とやさしさがあふれる
- ▶ 参画と協働による持続可能なまちづくりへのイノベーション

基本方針の体系図

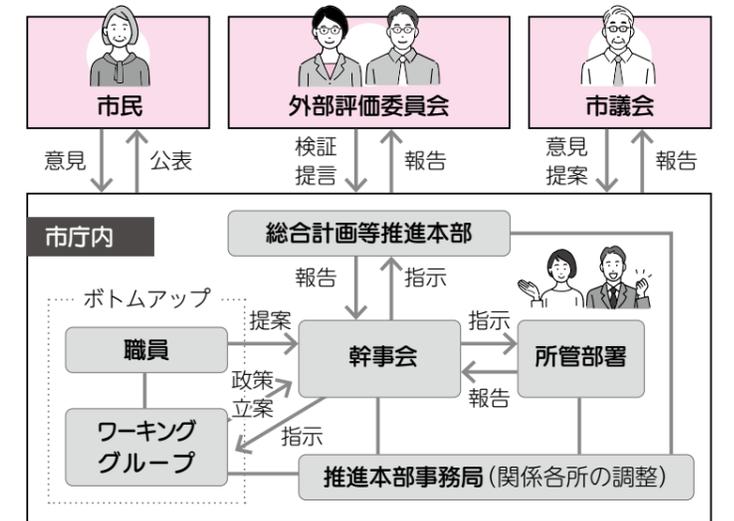


※合理的根拠に基づいた政策立案のこと。

行財政改革の見直しポイント

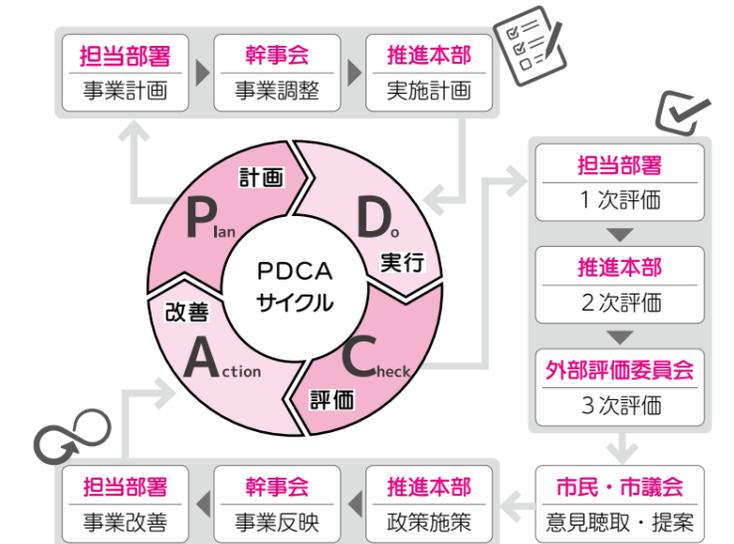
行政運営の見える化と市民協働

総合計画の施策推進のため、推進体制の再構築や客観的評価の導入、積極的な情報発信などを図ります。これによって、市民に対して開かれた行政運営による「見える化」を図り、課題や状況を共有します。そして、市民の市政参画意識の向上や意見提案が促進され、迅速に施策反映した市民協働によるまちづくりを具体的に実現できるようになります。



進行管理の徹底

各事業を進捗率や達成率の明確な評価基準によって検証し、3段階に分けて評価していきます。この結果を速やかに事業計画に反映させ、PDCAサイクルで進行管理していきます。



アクションプランの設定

選択と集中の観点から、特に重要な取り組み事項として31項目のアクションプランを設定しました。年次計画や成果目標を明確にし、取り組み効果を達成して将来像を実現します。